

子育て王国そとじや



インタビュー
Interview

・輝いている人

色は違えど、みんな平等
優しいまち総社になってほしい

総社市制施行10周年記念シンボルマークに応募し、見事選ばれたのが、本行奎晴(本名・勝)さんだ。「構想を練ること20点余り。散々悩み、作っては削除するを繰り返した。気に入らないものは世に出したくない」と、制作に一切の妥協はない。

作品は、吉備路の象徴、備中国分寺五重塔と市の花レンゲを数字の10に見立てたデザイン。「旧3市村が協力し、調和していくさまをレンゲの花輪に。発展の希望をグンと伸びる五重塔に」と、込めた思いを語る。

本行さんは六歳のころ、病気で聴覚を失った。母親が「視覚を生かす能力を」と、絵や美術の道へ進ませてもらったという。現在は企業でデザイナーとして商品開発に携わる。「今の自分があるのは母のお陰。作品が選ば

れて少しは恩返しできたかも」。母への感謝の気持ちが込み上げる。

以前は染色作品を制作していたが、今は専らパソコンでデザインしている。「50歳近くになって習得した。理解するのに1年以上費やした」と、振り返りながら「自分には負けず嫌いですから」と、自己分析する。

聴覚障がい者は見た目には分からない。そのため、誤解されたり、危険にさらされたりと不安が少なくないという。「障がい者も高齢者も子どもも、色は違えどみんな平等。誰にも優しいまち総社になってほしい」と、10周年を迎える総社市への期待を話してくれた。

聴覚障がい者として辛い思いもしてきた本行さん。その思いがあるからこそ、温かみと繊細さがあふれる作品が生まれるのだろう。

総社市制施行10周年記念シンボルマーク公募に選ばれた

本行 奎晴さん(見延)



1月6日、中央保育所のふれあい子育て支援センターで、お正月遊びが行われた。家事から離れ、子どもとのふれあいに集中できる場、親同士の情報交換の場となります

地域子育て支援センターは、市内5つの保育所(園)にあり、子育て中の親子が気軽に遊んだり、交流することができるスペースです。また、子育ての不安や悩みの相談にも応じますので、気軽に相談してください。

- 対象は？ 就学前児童とその保護者
- 利用料は？ 無料。ただし、活動内容により、1家族100円～500円程度の参加費が必要な場合もあります。



山手保育園の子育て支援センターでは1月9日、親子でおもちゃを作ったり、園庭で遊んだりして楽しんだ。季節に合わせた楽しい活動が毎月開催されています

- どこの保育園でしているの？
中央保育所(真壁・☎0975)
ひかり保育園(上林・☎4889)
第二ひかり保育園(真壁・☎4881)
すみれ保育園(井手・☎3832)
山手保育園(岡谷・☎4858)
- どんなことをしているの？
◇園庭開放・園開放…保育園内で、親子でいっしょに遊んだり、園の行事に参加できます
◇出張保育…親子クラブや親子グループからの依頼を受けて、保育士が向かいっしょに遊びます
◇育児講座…子育てに関する学習会などを行います
◇育児相談…子育てに関する悩みなどの相談を面接、電話、Eメールなどで受けます
※行事日程や申込方法などは、こども課の窓口に置いている、子育て支援センター発行の通信や各保育園で確認してください。
- 問い合わせ こども課児童保育係(☎028265)



- 材料(4人分)
●焼豆腐…100g(1/4丁) ●サケ切り身…200g
●ダイコン…200g ●ニンジン…70g ●白ネギ…50g
●ハクサイ…200g(大葉4枚程度) ●突きこんにやく…50g
●ショウガ…1かけ ●エノキタケ…50g ●だし汁…200g
●調味料…中味噌=大さじ2.5、みりん=小さじ1
- 作り方
①ショウガはすりおろし、焼豆腐・サケは2～3cmの角切り、ダイコン・ニンジンは5mmのいちょう切り、ハクサイ・白ネギは1cm幅、エノキタケは5cm幅に切る。
②だし汁でダイコン・ニンジンが固めに煮えたら、サケとショウガを入れる。
③サケの色が変わったら、残りすべての材料を入れ、再び沸騰したら中火にし、焼豆腐が煮えたら調味料を入れ、味を調える。
- その他の献立 ごはん、牛乳、たくあんあえ、黒糖ビーンズ